

【書式例 5-3】

令和 3 年度 指定管理者点検結果

施 設 名	玉野市農林水産振興センター
所 在 地	玉野市田井 2 丁目 4464 番地
指 定 管 理 者	名 称 有限会社みどりの館みやま 代表者 代表取締役 山上 誠二 住 所 玉野市田井 2 丁目 4464 番地
指 定 期 間	平成 31 年 4 月 1 日 ～ 令和 6 年 3 月 31 日（5 年間）
担 当 部 課	産業振興部農林水産課 電 話 0863-32-5561 E-mail nourinsuisan@city.tamano.lg.jp

評 価 内 容 の 総 括	総 合 評 価
指定管理者として適切に施設を管理しており、また、ここ数年、経営は好調を維持し、特に令和 3 年度は、総売上額が過去最高を更新し、経常利益も昨年度を上回るなど増収増益で経営状況は優良と評価する。 事業内容としては、農産物直販施設及び特産品展示販売施設は、地元農産物等の販売拠点として地域経済の向上や安定的な商品を提供しており、パン工房(令和元年10月販売開始)は玉野産朝日米の米粉を使用した食パンやメロンパンを商品に加えるなど新商品の開発にも取り組み、売上増加に大きく貢献している。令和 3 年度は、農産物直販、特産品販売、パン工房ともに売上額及び来客者数ともに増加し、また、研修室の活用は、新型コロナウイルスの影響により講習会の開催は 1 回のみであったが生産者の技術や知識向上に繋がっており、生産者及び消費者にとって魅力的な事業内容になっていると評価する。	S

■「総合評価」の評価基準

- S（優 良） 次の 3 項目の評価結果が全て A 以上であり、かつ S が 2 つ以上である。
- A（良 好） 次の 3 項目の評価結果が全て A 以上である。
- B（課題含） 次の 3 項目の評価結果に B が含まれている。
- C（要改善） 次の 3 項目の評価結果に C が含まれている。

① 業 務 の 実 施 状 況	評 価 結 果
【適切な施設管理の履行】 各種手続き、書類の整備がなされており良好な状態である。 【法令等の遵守】 各種手続き、書類の整備がなされており良好な状態である。 【安全性の確保】 施設の修繕や、防犯カメラ増設や夜間警備による警備強化が図られるなど、利用者の安全確保は良好である。 【財産の適切な管理】 施設及び備品等の適切な管理がなされており良好な状態である。 【利用状況】 農産物直販所、特産品展示直売所、パン工房ともに来客数は増加しており利用状況は良好で、消費者にとって魅力的な施設となっている。 （来客数） 令和3年度 農産物 286 千人、特産品 107 千人、パン工房 75 千人 令和2年度 農産物 268 千人、特産品 106 千人、パン工房 71 千人 【コスト削減への方策】 人事評価制度の導入や従業員教育により、従業員の働き方を指導することでコスト削減に取り組まれている。	A
② サ ー ビ ス 向 上 へ の 取 り 組 み	評 価 結 果
歩行者用通路屋根を延ばし施設のバリアフリー化や、従業員教育により接客マナー向上に努めるなど、ハード面及びソフト面でサービス向上に取り組んでいる。	S
③ 団 体 の 経 営 状 態 （ 経 営 の 健 全 性 ）	評 価 結 果
ここ数年、総売上額は前年度を上回り、経常利益も黒字を維持している。令和3年度は、総売上額が過去最高を更新し、経常利益も昨年度を上回るなど増収増益で経営状況は優良と評価する。	S

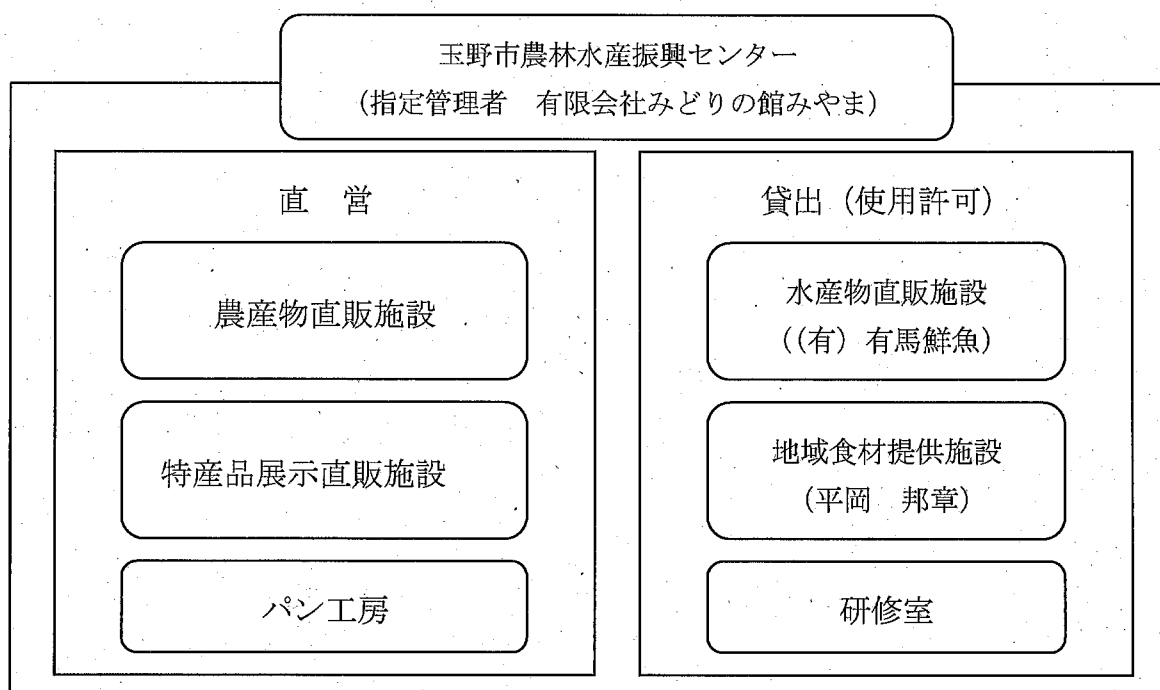
■ 「評価結果」の評価基準

- S（優 良） 協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である。
- A（良 好） 協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である。
- B（課題含） 協定書等の基準を概ね遵守しているが、内容の一部に課題がある。
- C（要改善） 協定書等の基準が遵守されておらず、改善が必要な内容である。

I 業務の実施状況に関する事項

1 管理体制の状況

(1) 指定管理業務の実施体制図（外部委託先を含む）



(2) 人員配置状況

職 種	勤務形態	人数	備 考
支配人	常勤職員	1	取締役
農産物直販施設	常勤職員	3	
	パート	12	
特産品展示直売施設	常勤職員	1	
	パート	4	
パン工房	常勤職員	2	
	パート	8	
営農指導	常勤職員	1	
清掃部	パート	5	
計		37	

2 施設・設備の維持管理業務の実施状況

・建物・設備の保守管理業務

施錠解錠の日常管理の他、老朽化部分の小修繕を実施

・清掃業務

直営施設は社員による清掃を実施し、使用を許可している施設は使用者が清掃を実施

・警備業務

夜間・休日の警備を警備会社に委託して実施している。

3 利用等の許可の状況

水産物直販施設	鮮魚販売者に対して単年度の使用を許可
地域食材提供施設	利用希望者に対して単年度の使用を許可
研修室	研修室利用希望者に対して随時使用を許可

II 施設の利用状況に関する事項

1 施設・設備の利用状況

水産物直販施設	使用許可	1 件（（有）有馬鮮魚）
地域食材提供施設	使用許可	1 件（平岡 邦章）
研修室	使用許可	33 件（農業者団体、視察対応、市農林水産課他）

III 自主企画事業の実施に関する事項（協定書に追加した事項等）

1 イベント名、内容、参加者数、収支状況 等

新型コロナウイルスの影響により全て中止

IV 料金収入の実績及び管理経費等の収支状況等

1 利用料金の収入及び減免の状況

（1）利用料金の収入総額、各施設、設備ごとの収入額 等

研修室使用料	23,000 円
水産物直販施設	4,800,000 円（400,000 円×12 月）
地域食材提供施設	2,640,000 円（220,000 円×12 月）

（2）減免の総額、各施設・設備ごとの内訳、減免理由 等

研修室使用料	50,000 円（自主事業、玉野市の公共使用等のため）
--------	-----------------------------

2 管理に係る収支の状況

別途添付の経営状況説明書のとおり

V 自己点検結果

施設利用者や、農産物直販施設の出荷登録農家への聞き取りを行うほか、関係機関からの意見聴取など、幅広く改善意見等の把握に努めている。

VI 経費節減・サービス向上に関する取組み

水産物直販施設を改修して、直営のパン工房を開店し、新規顧客獲得を行った。従業員教育を推進し、接客マナー向上に努めた。

VII その他

第 24 期

経 営 状 況 説 明 書

—— 内 容 ——

1. 令和 3 年度決算の状況
2. 令和 4 年度事業計画の概要

有限会社みどりの館みやま

令和 3 年度

決 算 の 状 況

目 次

I .	令和 3 年度 事業報告書	-----	3
II .	令和 3 年度 決 算 書		
(1)	貸 借 対 照 表	-----	5
(2)	損 益 計 算 書	-----	6
(3)	販売費及び一般管理費	-----	7
(4)	製 造 原 価 報 告 書	-----	8
(5)	監 査 報 告 書	-----	9

I. 令和3年度事業報告書

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

1 事業実施状況

令和3年度は、昨年度に続き新型コロナウイルスの影響によりイベントや生産者の研修はほぼ中止になったが、店舗は1年を通じて営業することができた。

道の駅みやま公園に対する高評価が周囲に浸透しており、来客数、出荷登録者数ともに増加傾向を維持している。その反面、週末の駐車場不足が問題となりつつある。

令和3年度の総売上額は、492,379千円(対前年度比+44,445千円、109.9%)で、昨年度に続き大幅な売上増となり、総売上高も平成15年度の457,942千円を大きく上回る過去最高を記録した。当期は5,536千円の営業黒字を計上し、経常利益は6,463千円となった。

(1) 農産物直販施設

店舗内のレイアウトを入荷量に合わせて常時変更し、お客様の見やすさ買いやすさを追求した。高齢による退会者も多くなってきたが、新たな出荷者として32人が登録して、登録者数全体では27人増加した。

売 上 額：332,613千円 (対前年度比 28,291千円 109.3%)

来 客 数：286,279人 (対前年度比 17,504人 106.5%)

登録者数： 408人 (対前年度比 27人 107.1%)

(2) 特産品展示直売施設

新規登録者は6名増えたが、手作りマスクの販売登録者が売場縮小に伴い3月末で多数退会したため、登録者数は減少した。

売 上 額：107,161千円 (対前年度比 12,982千円、113.8%)

来 客 数：107,879人 (対前年度比 1,586人、101.5%)

登録者数： 91人 (対前年度比 -10人、90.1%)

(3) パン工房

玉野産米粉食パンに続く、ご当地食材を使ったメニューを次々と開発しており、玉野の魅力を発信する魅力的な主要施設になりつつある。

売 上 額：52,604千円 (対前年度比 3,171千円、106.4%)

来 客 数：75,751人 (対前年度比 4,382人、106.1%)

(4) 研修室

生産者の栽培技術や知識向上のため、たまの楽農塾(4名)と合同で野菜・花・果樹等の栽培講習会を、備前広域農業普及指導センターの協力により7回の開催を予定していたが、新型コロナウイルスの影響により、1回のみの開催となり講習会には、17人が参加した。

【参 考】

(1) 水産物直販施設

令和3年度は臨時休業することなく、1年を通じて営業した。新鮮な瀬戸内の鮮魚や焼きアナゴが手軽に手に入ると好評で、直売所同様、近年人気を博しており、前年度比100.6%と売上を維持している。

売 上 額：164,308 千円 （対前年度比 1,051 千円、100.6%）

(2) 地域食材提供施設

メニューの見直しをして、客単価がアップしたが、利用者数は減少した。

売 上 額：41,952 千円 （対前年度比 5,503 千円、115.1%）

来 客 数：18,038 人 （対前年度比 -1,551 人、92.1%）

2 役員に関する事項

(令和4年3月31日現在)

就任年月日	役員名	氏 名	備 考
H30. 4. 1	代表取締役	山 上 誠 二	
H19. 7. 13	取 締 役	岡 本 英 俊	
H28. 9. 1	取 締 役	金 川 洋 一	支配人
H23. 6. 1	監 査 役	谷 貢	
R 3. 5. 24	監 査 役	山 崎 秀 樹	

3 法人登記に関する事項

監査役 1名増員

4 職員に関する事項

(令和4年3月31日現在)

職 種	勤務形態	人数	備 考
支配人	常勤職員	1	取締役
農産物直販施設	常勤職員	3	
	パート	12	
特産品展示直売施設	常勤職員	1	
	パート	4	
パン工房	常勤職員	2	
	パート	8	
営農指導	常勤職員	1	
清掃部	パート	5	トイレ等清掃
計		37	

Ⅱ．令和3年度決算書

(1) 貸借対照表

令和4年3月31日現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	円		円
【流 動 資 産】	【 85,077,533 】	【流 動 負 債】	【 40,286,255 】
現金及び預金	73,977,115	買 掛 金	3,213,272
売 掛 金	3,111,270	未 払 金	19,486,603
商 品	1,299,862	預 り 金	14,168,980
原 材 料	1,495,565	法人税等充当金	3,301,400
貯 蔵 品	3,181,578	商 品 券	45,000
立 替 金	80,000	未 払 法 人 税 等	71,000
未 収 入 金	1,923,843		
仮 払 金	8,300	【固 定 負 債】	【 1,500,000 】
【固 定 資 産】	【 66,380,840 】	退職給与引当金	1,500,000
(有形固定資産)	(65,030,840)		
建 物	22,061,202	負債の部合計	41,786,255
建物付属設備	35,464,036	純 資 産 の 部	
構 築 物	347,560	【株 主 資 本】	【 109,672,118 】
車 両 運 搬 具	1,057,744	(資 本 金)	(3,000,000)
設 備 造 作	0	資 本 金	3,000,000
工 具 器 具 備 品	6,100,298		
(投資その他の資産)	(1,350,000)	(利益剰余金)	(106,672,118)
出 資 金	50,000	利 益 準 備 金	1,500,000
保 証 金	1,300,000	別 途 積 立 金	18,700,000
		施設整備積立金	34,500,000
		繰越利益剰余金	51,972,118
		純資産の部合計	109,672,118
資産の部合計	151,458,373	負債及び純資産の部合計	151,458,373

(2) 損益計算書

自 令和3年 4月 1日
至 令和4年 3月31日

科 目	金 額	
(経常損益の部)		円
(営業損益の部)		
【純売上高】		
商品売上高	117,806,005	
売上高(パン工房)	49,272,121	
販売委託料	46,594,088	
販売手数料	3,487,353	
受取管理料	6,763,644	
登録・会費収入	1,145,476	225,068,687
【売上原価】		
期首棚卸高	2,159,966	
商品仕入高	81,938,810	
当期製品製造原価	48,485,865	
合 計	(132,584,641)	
期 末 棚 卸 額	1,299,862	131,284,779
売 上 総 利 益		(93,783,908)
【販売費及び一般管理費】		88,247,667
営 業 利 益		(5,536,241)
(営業外損益の部)		
【営業外収益】		
受 取 利 息	193	
道の駅清掃委託金	800,000	
急速充電器管理委託料	360,000	
雑 収 入	1,851,973	3,012,166
【営業外費用】		
営業外収入関係費用	1,921,653	
たまの楽農塾	143,861	
雑 損 失	19,079	2,084,593
経 常 利 益		(6,463,814)
税引前当期純利益		(6,463,814)
法 人 税 等		71,000
当 期 純 利 益		(6,392,814)

(3) 販売費及び一般管理費

自 令和3年 4月 1日
至 令和4年 3月31日

科 目	金 額	
役 員 報 酬	45,500	円
給 料 手 当	35,330,965	
賞 与	8,350,685	
雑 給	58,000	
支 払 報 酬 料	1,624,000	
法 定 福 利 費	5,151,788	
厚 生 費	1,528,790	
減 価 償 却 費	8,321,639	
賃 借 料	21,046	
修 繕 費	1,734,675	
事 務 用 品 費	281,901	
消 耗 品 費	4,626,795	
水 道 光 熱 費	3,832,400	
旅 費 交 通 費	3,640	
支 払 手 数 料	965,296	
租 税 公 課	240,279	
交 際 接 待 費	0	
保 険 料	350,600	
通 信 費	327,588	
諸 会 費	78,225	
広 告 宣 伝 費	205,738	
新 聞 図 書 費	93,002	
荷 造 運 賃	371,260	
会 議 費	0	
清 掃 委 託 費	313,139	
車 輦 費	159,724	
研 修 会 費	0	
管 理 諸 費	1,690,947	
雑 費	57,373	
リ ー ス 料	5,696,840	
備 品 費	1,331,280	
地 代 家 賃	5,454,552	
合 計		(88,247,667)

(4)製造原価報告書

自 令和3年 4月 1日
至 令和4年 3月31日

科 目	金 額	
		円
【材 料 費】		
期首原材料棚卸高	1,508,011	
原 材 料 仕 入 高	22,050,223	
小 計	(23,558,234)	
期末原材料棚卸高	1,495,565	22,062,669
【労 務 費】		
賃 金	13,214,722	
賞 与	2,049,375	
法 定 福 利 費	1,964,533	
厚 生 費	415,416	17,644,046
【製 造 経 費】		
水 道 光 熱 費	1,274,316	
消 耗 品 費	1,855,934	
旅 費 交 通 費	0	
減 価 償 却 費	590,076	
修 繕 費	62,432	
車 両 費	6,038	
保 險 料	105,556	
備 品 費	459,016	
事 務 用 品 費	3,895	
リ ー ス 料	3,699,642	
管 理 諸 費	292,134	
諸 会 費	361,375	
広 告 宣 伝 費	910	
マ リ ン pay 費用	67,826	8,779,150
総 製 造 費 用		(48,485,865)
当期製品製造原価		(48,485,865)

監 査 報 告 書

令和4年5月16日

有限会社みどりの館みやま
代表取締役 山上 誠二 殿

監査役 谷 貢 ⑩

山崎 秀樹 ⑩

令和3年4月1日から令和4年3月31日までの、第24期営業年度における取締役の職務執行を監査するため、取締役会及びその他の重要な会議に出席するほか、取締役等から営業の報告を聞き、重要な決裁書類等を閲覧し、実査、立会、照合を行い、会計帳簿等につき検討を加えた結果、次のとおり報告する。

1. 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、貸借対照表及び損益計算書の記載と合致していることを認める。
2. 貸借対照表及び損益計算書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認める。
3. 事業報告の内容は、真実であると認める。
4. 取締役の業務遂行に関する不正の行為、または法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められない。

以上

令和 4 年度

事業計画の概要

目 次

I.	令和4年度 事業計画書	12
II.	令和4年度 予算書	13
	(1)販売費及び一般管理費内訳	14
	(2)製造原価報告書内訳	15
(参考)	売上高の推移	16

I. 令和4年度事業計画書

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

今年度は、新型コロナウイルスとの関わり方が新たなフェーズに移行していく中で、今までにない新しい取組を計画し、それを実行に移す年とする。

出荷者向け先進地視察や意見交換会を積極的に開催し、農産物出荷者のレベルアップをサポートするとともに、栽培履歴の管理や農産物集荷システムについて、今年度中の導入を目指す。

昨年度立ち上げた清掃部門の業務について、4月から自主運営となったゴミ処理と施設周辺の花壇の美化に範囲を拡大して、道の駅周辺の更なる魅力向上を図る。

1. 農産物直販施設

販売登録者は毎年増加しており、農産物の売れ行きは好調だが、品質や荷姿にばらつきがあり、厳しいご意見を頂くことがあるので、出荷者と協議をしながら新たに直売所の独自ルール作りを実践する。昨年同様、継続的に出荷者・購買者双方に魅力的なサービスを提供する直売所を目指す。

市場からの商品は、岡山県産にこだわった仕入を行っており、出荷者の販売を圧迫しないよう留意し、購買者の機会損失に配慮する。

2. 特産品展示販売施設

玉野市内の事業者や玉野市産特産品のPRを積極的に行うとともに、道の駅みやま公園でしか手に入らないモノを増やす品揃えを推進する。

屋外ブース駅前マルシェは、玉野市の事業者による玉野産原材料を使用した商品に優先出店してもらい、賑わいを創出する。

3. パン工房

焼きたてパンのテイクアウトはお客様の支持を集めており、玉野産朝日米を使った第2弾商品米粉メロンパンも、お客様から高い評価を頂いている。原材料の仕入価格が高騰しているが、新商品を展開して利益を確保していく。

4. 研修室

昨年度コロナの影響により1回のみの開催となった花・果樹の栽培管理講習会について今年度は8回の開催を予定している。施設設備・備品の老朽化が目立ってきており、更新が急がれる。また、毎週1回使用していたデイサービスが、昨年度終了した。研修室使用頻度が減少するなか、新たな使用希望者を募る告知を進める。

【参考】

・水産物直販施設

名物の「焼きアナゴ」をメインに、地物の新鮮で安価な魚介類や、その加工品の提供とともに、より一層親しみやすい売り場にする。テナントには衛生面での责任意识を持たせ、今後も施設管理者として指導を徹底する。

・地域食材提供施設

看板メニュー(ここに来ないと食べられない料理)開発を引き続き要請していく。昨年同様、公共施設の自覚を持って経営するよう指導する。

Ⅱ．令和4年度予算書

自 令和4年 4月 1日
至 令和5年 3月31日

科 目	予算額	前年度予算額
(経常損益の部)		千円
(営業損益の部)		
【純売上高】	(228,410)	(215,360)
商品売上高	118,000	112,000
売上高(パン工房)	52,000	50,000
販売委託料	47,000	42,000
販売手数料	3,500	3,500
受取管理料	6,760	6,760
登録・会費収入	1,150	1,100
【売上原価】	(131,970)	(124,520)
期首棚卸高	1,299	2,159
商品仕入高	82,000	77,000
製品製造原価	49,970	47,520
合 計	133,269	126,679
期末棚卸額	1,299	2,159
売上総利益	96,440	90,840
【販売費及び一般管理費】	92,745	87,775
営業利益	3,695	3,065
(営業外損益の部)		
【営業外収益】	(4,165)	(3,101)
受取利息	0	0
道の駅清掃委託金	2,305	741
急速充電器管理委託料	360	360
雑 収 入	1,500	2,000
【営業外費用】	(4,000)	(2,600)
営業外収入関係費用	4,000	2,500
たまの楽農塾	0	100
経常利益	3,860	3,566

(1) 販売費及び一般管理費内訳

単位：千円

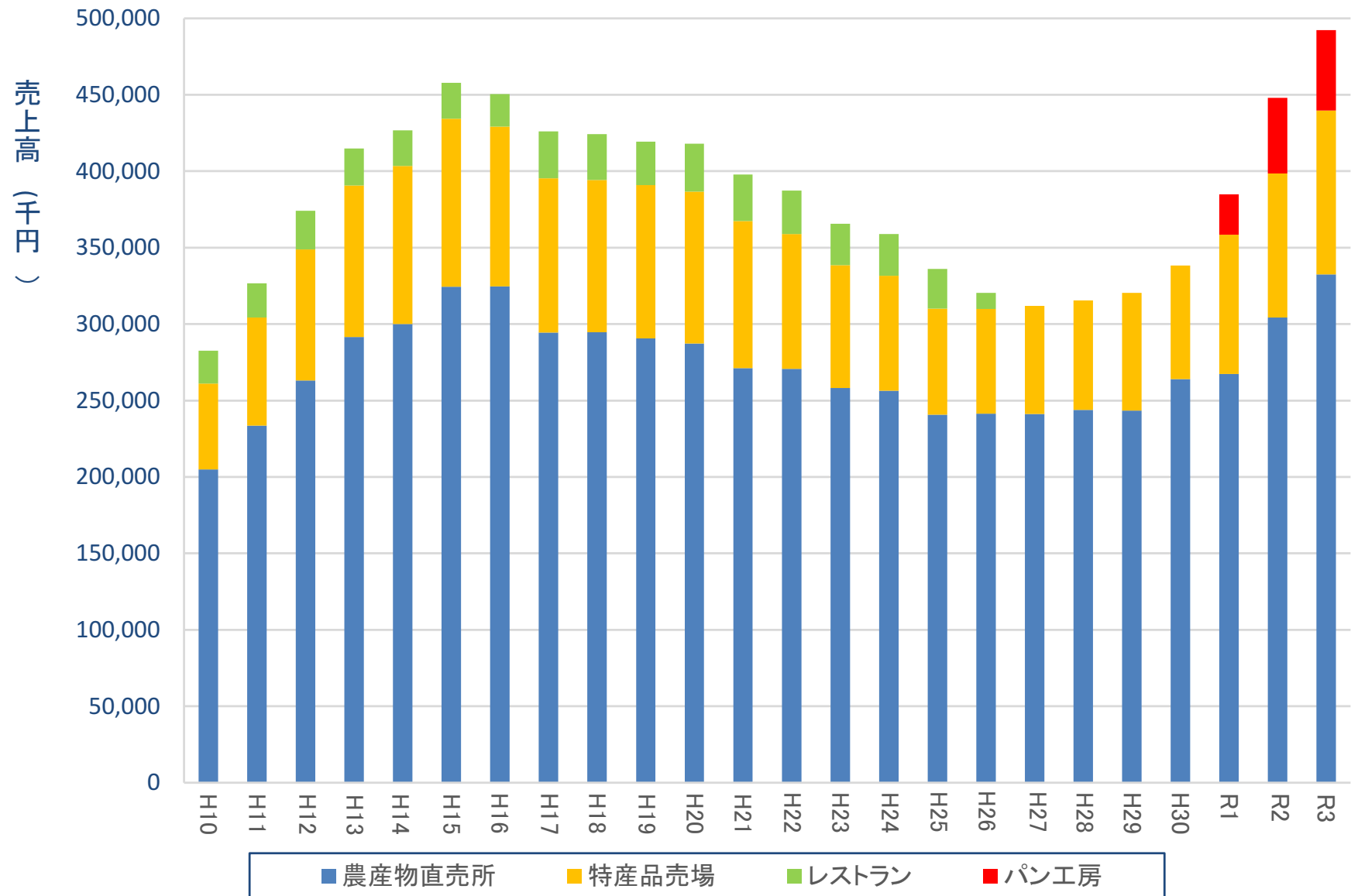
科 目	予 算 額	前年度予算額
役員報酬	50	50
給料手当	38,000	37,000
賞与	8,000	8,000
雑給	100	100
支払報酬料	1,800	1,800
法定福利費	5,200	5,200
厚生費	1,500	1,500
減価償却費	8,320	6,000
賃借料	50	50
修繕費	2,000	2,000
事務用品費	400	400
消耗品費	4,500	4,500
水道光熱費	4,000	3,200
旅費交通費	200	200
支払手数料	1,000	1,000
租税公課	250	250
交際接待費	30	30
保険料	360	360
通信費	330	330
諸会費	200	200
広告宣伝費	300	300
新聞図書費	90	90
荷造運賃	400	400
会議費	15	15
清掃委託費	1,000	150
車輛費	300	300
研修会費	300	300
管理諸費	2,000	2,000
雑費	100	100
リース料	5,500	5,500
備品費	1,000	1,000
地代家賃	5,450	5,450
合 計	92,745	87,775

※科目間の流用を認める

(2) 製造原価報告書内訳

科 目	予算額	昨年度予算額
		千円
【材 料 費】	(22,500)	(22,000)
期首原材料棚卸高	1,495	1,508
原 材 料 仕 入 高	22,500	22,000
小 計	23,995	23,508
期末原材料棚卸高	1,495	1,508
【労 務 費】	(17,800)	(16,600)
賃 金	13,500	13,500
賞 与	2,000	1,200
法 定 福 利 費	2,000	1,600
厚 生 費	300	300
【製 造 経 費】	(9,670)	(8,920)
水 道 光 熱 費	1,400	1,200
消 耗 品 費	1,800	1,200
旅 費 交 通 費	50	50
減 価 償 却 費	600	400
修 繕 費	200	200
車 両 費	10	10
保 險 料	100	100
研 修 会 費	50	50
備 品 費	600	1,000
事 務 用 品 費	50	50
リ ー ス 料	4,000	4,000
管 理 諸 費	300	250
諸 会 費	360	360
広 告 宣 伝 費	50	50
マ リ ン pay 費用	100	
合 計	49,970	47,520

売上高の推移



【書式例 5-4】

令和 3 年度 指定管理者自己点検結果

点 検 日	令和 4 年 3 月 1 日
施 設 名	玉野市農林水産振興センター
所 在 地	玉野市田井 2 丁目 4 4 6 4 番地
指 定 管 理 者	名 称 有限会社みどりの館みやま 代表者 代表取締役 山上 誠二 住 所 玉野市田井 2 丁目 4 4 6 4 番地
指 定 期 間	平成 3 1 年 4 月 1 日 ~ 令和 6 年 3 月 3 1 日 (5 年間)
担 当	電 話 0 8 6 3 - 3 2 - 0 1 1 5 E-mail miyama@m-y. jp

評 価 内 容 の 総 括	総 合 評 価
5 年間の指定管理 3 年目は、施設の改修工事が完了して魅力が充実した。来客数も大幅に伸びて、過去最高売上高を達成し、来年度以降に更なる成長が期待できる結果となった。	A

■「総合評価」の評価基準

- S (優 良) 次の 3 項目の評価結果が全て A 以上であり、かつ S が 2 つ以上である。
- A (良 好) 次の 3 項目の評価結果が全て A 以上である。
- B (課題含) 次の 3 項目の評価結果に B が含まれている。
- C (要改善) 次の 3 項目の評価結果に C が含まれている。

① 業 務 の 実 施 状 況	評 価 結 果
【適切な施設管理の履行】 規定に基づく施設管理を行い、施設内の整理整頓や清掃を徹底した。 【法令等の遵守】 必要な許可の取得や免許の更新見直しを行い、法令遵守に努めた。 【安全性の確保】 施設内の定期的な巡回を行い、保守点検をし、必要に応じて小修繕を行った。 24時間防犯カメラの増設や、夜間警備の契約をして、万引き防止に努め施設内の警備を強化した。玉野警察署と連携し、犯罪撲滅に努めた。 【財産の適切な管理】 施設内備品の適切な使用や保守管理を行った。 【利用状況】 巣ごもり需要にマッチして、地元の利用者が増加した。 【コスト削減への方策】 人事評価制度を導入して、昇級や賞与の基準を明確にしたことで、従業員の働き方に対する考え方を指導した。	A
② サ ー ビ ス 向 上 へ の 取 り 組 み	評 価 結 果
歩行者用通路屋根を伸ばしバリアフリー化を実施し、施設全体の魅力向上に務めた。法令に則ったレジ袋の無償提供を実施している。	A
③ 団 体 の 経 営 状 態 （ 経 営 の 健 全 性 ）	評 価 結 果
施設の魅力向上効果による来客と売上高の大幅増加により、経営状況は安定した。	S

■ 「評価結果」の評価基準

- S（優 良） 協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である。
- A（良 好） 協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である。
- B（課題含） 協定書等の基準を概ね遵守しているが、内容の一部に課題がある。
- C（要改善） 協定書等の基準が遵守されておらず、改善が必要な内容である。